

第二学区まちづくり塾とは

○趣旨

少子高齢化、急激な人口減少、高齢者雇用、自治体の財政ひっ迫など。社会の変化に対応しながら、地域コミュニティを維持し、健康で安心な生活の仕組みをつくっていくためには、数年後を見据えた持続可能なまちづくり戦略が必要です。

自分たちの理想のまちを、自分たちでつくるために、主役である塾生たちが、地域への関心を高め、課題解決や魅力づくりなど、今後のまちづくりを主体的に実践していく塾です。

○目的・ねらい

「第二学区をもっと素適に！」「生き生きとした地域に！」の呼びかけに集まった30～50代の若手たちが集う第二学区まちづくり塾。自らが楽しみながら、やりたいことをして地域を元気にしていく。そうした活動を通して、地域の将来を担う人材を育成すること。

○発足の経緯

第二学区コミュニティ振興会総務部の令和3年度からの新事業『地域ビジョン構築への取り組み』より発展し、令和4年12月に発足しました。

○会員数（塾生）：18名 他にアドバイザー会員：2名（令和5年2月現在）

○主な活動歴

- 第1回 第二学区まちづくり塾（発足式） 令和3年12月2日 出席者：16名
3グループに分かれ、今後やってみたいことや第二学区の理想像などを話し合う。
- 第2回 第二学区まちづくり塾 令和4年5月27日 出席者：15名
前回に出された案の中から、今年度を実施する活動を3つ選ぶ。
- 第3回 第二学区まちづくり塾 令和4年8月19日 出席者：11名
①BBQで塾生相互の親睦を深める。②YouTubeでまちづくり塾をPRする。
この二つの企画を同時に実施するための協議をする。
- 第4回 第二学区まちづくり塾 令和4年10月2日 出席者：18名
中央児童館脇の屋外にてBBQと芋煮会を行い、塾生相互の親睦を深める。
その様子をYouTubeに動画投稿する。
- 第5回 第二学区まちづくり塾 令和4年11月25日 出席者：11名
冬の天神PRについて協議する。

- 天神クリスマス2022 令和4年12月25日 参加者：11名
「化けもの」と「サンタクロース」に扮した第二学区まちづくり塾有志が、希望家庭を訪れクリスマスプレゼントと共に天満宮の絵馬などを子どもに届ける。その様子をYouTubeに動画投稿する。
- コミセン新春交流会（令和5年1月14日）を撮影しYouTubeに動画投稿する。

化けものとXマス訪問

鶴岡市「終い天神」にプレゼント
第二学区



「終い天神」の25日、鶴岡市第二学区まちづくり塾のメンバーが、学区内の家庭を訪問し、子どもたちにクリスマスプレゼントを手渡した。

学問の神様・菅原道真公は6月25日に生まれ、2月25日に亡くなったことから毎月「25日」を縁日としている。12月25日は「終い天神」とし、その年一年を締めくくる最大の縁日。この日にお参りすると、大きなご利益があるといわれる。

今回のイベントは菅原道真公を祭っている鶴岡天満宮の天神祭と終い天神をアピールしようと、12月25日のクリスマスに合わせて第二学区まちづくり塾（メンバー20人）が初めて企画した。

この日は塾のメンバー10人が参加。編み笠や手拭いで顔を隠す「化けもの」とサンタクロースの姿に扮し学区内の家庭を訪問。お菓子、文房具、鶴岡天満宮の絵馬を手渡し、子どもたちを喜ばせた。写真。

キャラクタークッキーをもらった阿部鈴依奈さん(9)は「化けものがいっぱい来てにぎやかで楽しかった。クッキーは家族みんなで食べたい」と笑顔を見せた。

サンタに扮した第二学区コミュニティ振興会の太田孝二会長は「学区の子どもたちを楽しませようと、今回初めて試みたが来年も続けたい。協力してくれる有志を増やし、少子高齢化と人口減少が進む中でも生き生きとしたコミュニティをつくっていきたい」と話していた。



「化けもの」家訪問
鶴岡 鶴岡市の鶴岡天神祭に登場する

「化けもの」とサンタクロースが子どもたちにプレゼントを渡す「天神クリスマス2022」が25日、同市第一学区で開かれた。写真。

同学区コミュニティ振興会（太田孝二会長）の若手有志でつくる「第二学区まちづくり塾」会員10人が化けものとサンタに扮（ふん）し、事前に申し込みがあった家を訪問。児童5人におもちゃや文房具、鶴岡天満宮の絵馬を贈った。

同学区のシンボル・鶴岡天満宮と鶴岡天神祭について広く知ってもらおうと、同塾が初めて企画した。